

金庫

耐火金庫	648～654
セキュリティーラーム	648
特殊耐火金庫	649
インナーボックス	650
デザイン金庫	652
防盜金庫	655
耐火ファイル	655
ホテルセーフ	655
手提金庫	655

金庫には「耐火金庫」と「防盜金庫」があります。

大切なものを守るために、正しくお使いください。

耐火金庫

大切なものを
火災から守る

耐火金庫とは、「火災対策」の性能を持った金庫です。

JIS規格に基づき、建物火災から震災による衝撃や二次火災としての火災まで、大火災時の消火活動が困難なケースを想定し、耐火試験の基準が設けられています。

○標準加熱試験 [徐々に広がる火災を想定した試験です。]

試験 金庫を炉内に入れ、JISが定める標準温度曲線に従って	合格 一般紙用の場合、庫内の最高温度が177℃以下で
方法 規定時間加熱し、加熱終了後は、炉内で自然放冷する。	基準 あり、庫内に入れた新聞紙が判読可能であること。

○急加熱・衝撃落下併用試験 [急激な発火による温度上昇や、爆発による衝撃を想定した試験です。]

試験 急加熱を行った後、加熱炉から金庫を出し、9.1m(30フィート)の高さより落下させる。再度、加熱炉に入れ、規定時間加熱する。加熱終了後は過熱炉内で自然放冷する。	合格 試験体に破裂がなく、施錠状態を維持していること。
方法	基準 また、金庫内に入れた新聞紙が判読可能であること。

○耐破壊性能試験 (TS-15)

防盜金庫

大切なものを
盗難から守る

防盜金庫とは、耐火性能に加えさらに「盗難対策」の性能を持った金庫です。

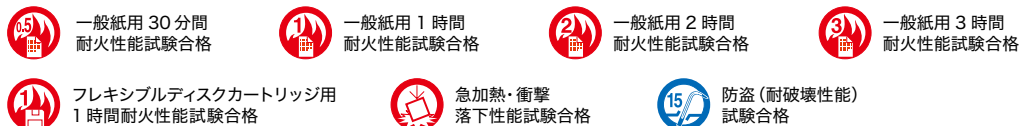
日セフ連(日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会)により、あらゆる工具による破壊行為を想定し、防盜試験の基準が設けられています。

○耐溶断・耐工具試験 (TR・TL) [ガス溶断機、電動工具などによる大掛かりな破壊行為を想定した試験です。]

○耐工具試験 (TL) [電動工具、簡易な手動工具による破壊行為を想定した試験です。]

試験 事前に提出した図面をもとに弱点を検討し準備の上で、規定の工具を使い、次の3種類の破壊試験を行う。	合格 侵入口の開口を防ぎ、全ての試験が実施時間以上経過した場合。
方法	基準
・A系列：施錠機構への攻撃	
・B系列：扉及びカンヌキへの攻撃(扉こじ開け)	
・C系列：侵入口を空ける(φ100mm)	

耐火金庫性能 JIS(日本工業規格)で規定する各試験項目に合格していることを表示しています。



防盜金庫性能 日セフ連(日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会)で規定する各防盜試験に合格していることを表示しています。

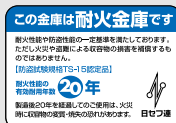


JIS認証製品とは 表示マーク：**JIS 認証製品**

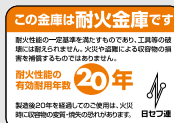
第三者機関(登録認証機関)による客観的な審査・評価試験を行い、製品に対する性能・品質の信頼向上を目的としたJIS認証取得制度によって、JISマークの表示を受けた製品です。通常製品については、JIS各試験項目のうち、耐火性能や耐破壊性能のみを第三者機関で試験・合格。その他項目はメーカーの品質管理の基に生産された製品です。

耐火金庫の耐用年数は製造後20年です。

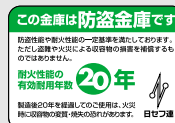
防盜金庫と耐火金庫はJIS規格耐火性能を備えています。製造後20年を経過してのご使用は、耐火性能が低下し、火災時に収容物の変質または焼失の恐れがありますので、新品と交換されることをおすすめします。日セフ連(日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会)では、金庫の扉裏に種類や特長、使い方、収容物に関する事項などを表示したシールを貼ることで、ご使用になられる方に注意を促しています。



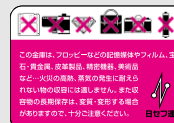
耐火金庫(TS-15認定品)用シール



耐火金庫シール



防盜金庫シール



収容物シール